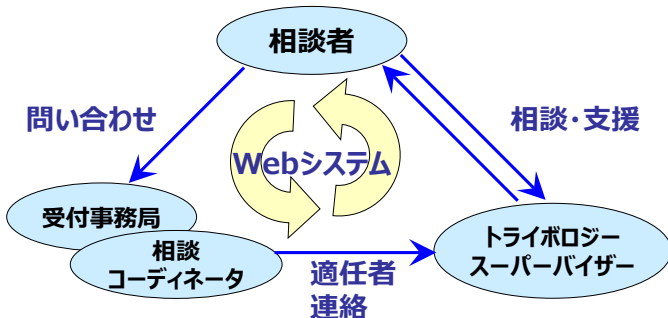


トライボロジー相談室

トライボロジー相談室は、日本トライボロジー学会による技術支援制度です。学会が認定したトライボロジースーパーバイザー(TS)が、豊富な知識と経験を生かし相談者の質問・相談に応じます。社会貢献やトライボロジーの普及などを目的としたもので、営利目的ではありません。お気軽にご相談ください。



表彰

トライボロジー分野の学術・技術の発展を奨励することを目的に、功績が顕著な個人に **功績賞**、優秀な論文・技術に **論文賞・技術賞**、新進の若手会員個人に **奨励賞**、優秀な学生会員に **学生奨励賞** を贈り、表彰を行っています。



【表紙写真のご紹介】

- ① 転がり軸受のピーリング損傷 (赤松良信)
- ② 樹脂試験片エッジに発生した摩耗粉 (林慎之)
- ③ 処女面摩擦で生じたCu摩耗粉 (久門輝正ほか2名)
- ④ フッ素プラズマ処理したPFPEに着滴させた精製水 (小竹克幸)
- ⑤ 鋼球通過によるグリースの波紋 (緒方智子)
- ⑥ 機能美を表現した転がり軸受のアート (日野裕)
- ⑦ ジャーナル軸受にてきたキャビティ (森淳暢)
- ⑧ しわが多数ある球状の金属摩耗粉 (林慎之)
- ⑨ ディンプルを形成したEHL膜の干渉像 (西川宏志)
- ⑩ 油膜を介して衝突した球と平板のそれぞれの凹み (城門由人)
- ⑪ 1,2-ヒドロキシステアリン酸リチウムグリースの増ちょう剤繊維構造 (八重樫康ほか3名)

①	④	⑧
	⑤	⑨
②	⑥	⑩
③	⑦	⑪

【出典】⑨1994秋金沢 ③⑤1996秋北九州 ⑦⑪1997秋大阪 ①②⑧1998秋名古屋 ⑩1999秋高松 ④⑥2001秋宇都宮

入会のご案内

【入会のメリット】

◆得られる技術情報の領域が広く、質が高い。

- ・会誌「トライボロジスト」は解説記事が充実しており、専門的で質の高い最新情報が入手可能。

◆人的ネットワークを形成しやすい。

- ・さまざまな業種・分野から会員が集まっている。
- ・産業／学術間や異業種間の交流がしやすい。
- ・分野でまとまりやすく、交流しやすい規模。

◆教育講座等のイベントや研究会への参加が可能。

◆若手社員の育成の場になる。

- ・アットホームな雰囲気での講演発表や投稿がしやすい。

【正会員の特典】

1. トライボロジー会議での講演発表が行える。
2. 研究会に参加して最新技術研究の情報交換が可能。
3. 会誌「トライボロジスト」が毎月届く。
4. 会員限定情報やトライボロジストの解説記事、論文、トライボロジー会議予稿集をオンラインで閲覧可能。
5. 入会初年度の年会費を免除。
6. 本会主催行事に会員料金で参加。 **年会費以上にお得。**
7. 学会HPやメールで講習会・講演会等のお知らせ。
8. 特に優れた技術開発業績には技術賞を授与。
9. 36歳未満の会員の優れた研究業績に奨励賞を授与。

【入会方法】

申込手続きは日本トライボロジー学会のホームページ (<https://www.tribology.jp/>) で行います。

◆入会金 正会員： 500円、学生会員： **無料**

◆会費 正会員：9,600円、学生会員： **無料**

維持会員：S級 60万円、A級 48万円、
B級 36万円、C級 28万円、
D級 20万円、E級 12万円

公共会員：22,600円 (年額)

維持会員もさまざまな特典がございます。詳細は、本会ホームページ「入会のご案内」を御覧ください。

一般社団法人 日本トライボロジー学会
〒105-0011東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内407の2号室
電話 03-3434-1926 FAX 03-3434-3556
<https://www.tribology.jp/>

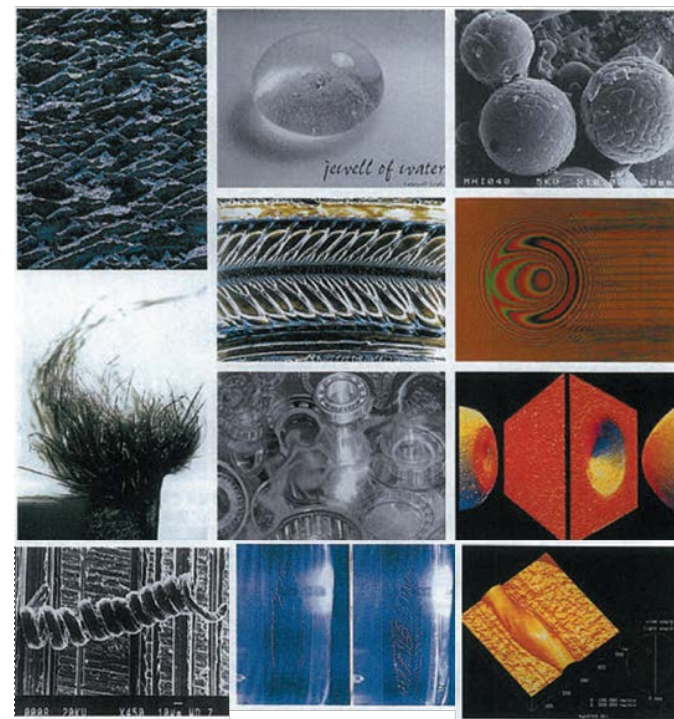
Copyright©2020 Japanese Society of Tribologists.
All Rights Reserved. 2020年4月発行



一般社団法人

日本トライボロジー学会

Japanese Society of Tribologists



<https://www.tribology.jp/>

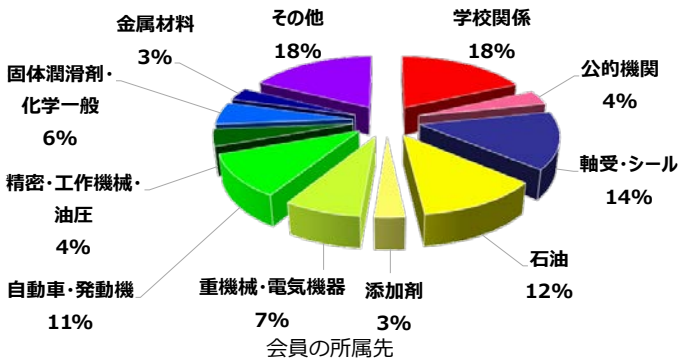


はじめに

トライボロジーとは、潤滑、摩擦、摩耗、焼付き、軸受設計を含めた「**相対運動しながら互いに影響を及ぼしあう二つの表面の間におこるすべての現象を対象とする科学と技術**」です。機械や部品の低摩擦、低摩耗、表面損傷の低減を実現し、私たちの暮らしと社会の省エネルギーおよび省資源に貢献しています。トライボロジーは、さまざまな学問分野、産業分野に関わっています。



日本トライボロジー学会(1956年設立の日本潤滑学会より改称)は、トライボロジーの基礎から最先端まで、あらゆる分野の情報交換を行う場です。会員数は、**個人会員約2,500名、維持会員(企業等)約170社**です(2020年1月現在)。会員の所属先は、**学校・公的機関の22%に対して民間企業が78%**を占め、産業分野は自動車、重機械・電機、精密・工作機械などに加え、軸受・シール等の機械要素、石油、添加剤、化学、材料等の広範囲にわたります。



講座・セミナー

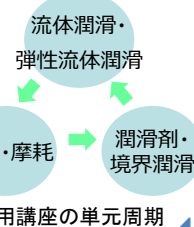
日本トライボロジー学会では、これからトライボロジーを勉強しようとする人から、研究開発、設計、製造の現場で、摩擦、摩耗、潤滑の問題に取り組んでいる人を対象に、それぞれのレベルに合わせた**教育講習会**や**セミナー**を開催しています。いずれの講習会も日本トライボロジー学会の会員でなくても受講できますが、**会員の受講料はどれも大変割安**になっています。

トライボロジー秋の学校

1泊2日で開催される、大学・企業に所属する若手トライボロジストが交流を深める場です。

入門講座・西日本入門講座

初心者向けにトライボロジー全般の基礎を解説します。



応用講座(設計編/実験・計測編)

入門講座の内容を掘り下げて、専門的なレベルまで解説します(3年でテーマが一巡)。

学術講演会

トライボロジー会議は、年2回、春(東京地区、5月)と秋(東京以外、9~11月)に開かれる学術講演会です。多くのトライボロジストが集まり、大学、企業等の最新の研究成果が約200件、発表されています。特別講演会、シンポジウム、懇親会、企業展示なども併設されており、研究者・技術者の交流を広げる機会を提供します。



International Tribology Conference (ITC) は、4年毎に開催される本学会主催の国際会議です。世界各国から多くの参加者が集まり、理論的研究から実用化を目指した研究までバランスのとれた発表が行われてます。世界中の研究者・技術者との交流が可能です。

この他、**世界トライボロジー会議**(京都にて第4回WTC2009)、**アジアトライボロジー会議**(金沢にて第3回ASIATRIB2006)等を開催しています。

出版物



学会誌「**トライボロジスト**」は、一つのテーマをさまざまな角度から掘り下げた特集記事の他、学術論文・技術論文、研究分野の展望、研究会での活動成果など、会員の多様な活動に役立つ情報を掲載しています。



「**Tribology Online**」は本会発行の英文オンラインジャーナルです。全世界で生み出された質の高いトライボロジーに関する論文を迅速に出版しています。
<https://www.tribology.jp/trol/>



「**トライボロジーハンドブック**」をはじめとした、トライボロジー関連技術者・研究者の方々の多様なご要望にお応えするため、**さまざまな専門技術書**を出版しています。

研究会

本学会では、特定のテーマ/分野について調査、協同研究、情報交換などを行う下記の研究会を設置しています。

学会指定研究会

本学会が指定した研究課題について調査・研究・討論などを行い、その研究成果を会員の皆様に公開いたします。

産学協同研究会

産学の第一線研究者が連携し、調査研究あるいは試験研究を行い、その分野の技術発展に努めています。

会員提案研究会

トライボロジーに関する重要なテーマについて、調査・研究・討論などを通じて当該分野の発展に寄与する活動をしており、その分野の研究者・技術者が自由に参加できます。

地区研究会

地区で特定のテーマにとらわれずに、フランクな意見交換/交流の場として活動しています。

学会指定	新領域・新分野開拓研究会			
産学協同	添加剤技術	固体潤滑	グリース	転がり軸受寿命
会員提案	エンジン潤滑	境界潤滑	転がり疲れ	摩耗
	自動車のトライボロジー	変速機のトライボロジー	シール	“超”を目指す軸受技術
	鉄道のトライボロジー	工作機械のトライボロジー	塑性加工のトライボロジー	アルミニウムのトライボロジー
	高分子材料のトライボロジー	メンテナンス・トライボロジー	ファイル記憶のトライボロジー	機能性コーティングの最適設計技術
	スペーストライボロジー	トライボケミストリー	トライボダイナミクス	テクスチャリング表面のトライボロジー
表面力	分子シミュレーションのトライボロジーへの応用			
地区	日本海トライボロジー		北海道トライボロジー	

(2020年1月現在)